

2007
2
NO.275

調査ニュース

今月の注目点

～世界最高峰の技が札幌に集結～

2年に一度のスキーマの祭典「ノルディックスキー世界選手権」が札幌で開かれる。道民にとっては世界最高峰の技を間近でみる絶好の機会だ。（P 2 フラッシュにも掲載）

2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会概要

開催日程	2007年2月22日～3月4日	
開催会場	札幌ドーム、大倉山ジャンプ競技場、宮の森ジャンプ競技場、白旗山競技場	
競技種目 (3競技18種目)	ジャンプ	ノーマルヒル、ラージヒル、団体戦
	複合	スプリント、15km個人戦、団体戦
	クロスカントリー	男女スプリント、男女パシュート、男女リレーなど12種目
参加国数	47ヵ国（参加国の約7割が欧州）	
参加人数	選手、役員を含め1,100名	
マスコット キャラクター	ノルッキー（エゾシカがモデル）	
一〇メモ	・「ノルディック」は「北欧人の、北欧の」という意味を持ち、「ノルディックスキー」の起源はノルウェーといわれている ・世界選手権が1985年単独開催（それまでは五輪との共同開催）になって以降、アジアでの開催は初めて	

最近の道内産業経済動向	1
フラッシュ	2
● 世界からの視線が“飛んでくる”ノルディックスキー世界選手権	
経済観測	3
● 経済動向Q & A（当行の「2007年度北海道経済の展望」から）	
地域だより（わが町の地域ブランド）	7



最近の道内産業経済動向

個人消費は総じて低調の域。また、公共工事の減少に加え、住宅着工は弱含んで推移している。しかし、設備投資の底堅さ、道外からの観光客増加、道外需要関連の生産増等を背景に、総体では緩慢ながら持ち直し基調。先行きは、公的需要の減少持続や所得環境の改善遅れ等から、横這い圏内で推移するとみられる。

●個人消費は総じて低調だが、初売りには賑わい

11月の大型小売店販売（既存店）は、「日ハム優勝セール」効果の反動に加え、気温の高め推移による冬物商品出遅れから、2カ月ぶりに前年を下回った（前年比▲2.8%）。年末にかけても、概ね弱めの動きが続いた模様だが、初売りでは、客数、売上とも前年を上回ったところが多く、賑わいがみられた。乗用車販売（11月）は、軽自動車の増勢持続（同9.4%増）に加え、普通車が2年ぶりに前年を上回った（同2.2%増）ものの、小型車の二ケタ割れ（同▲17.4%）が続き、全体では7カ月連続で前年を下回った（同▲5.1%）。

●道内投資は住宅着工が弱含み、設備投資は底堅い動き

住宅着工戸数（11月）は、持家、分譲住宅、貸家（前年は道外マネー流入を背景に賃貸マンションが大幅増）が揃って前月に続いてマイナスとなり、全体では4カ月連続で前年を下回った（前年比▲28.8%と割れ幅が拡大）。民間設備投資は、道外需要向け製造業（能力増強）のほか、一部非製造業（競争力強化）でも前向きの動きがみられる。11月の民間建築物着工床面積（非居住用）は、同▲22.8%と6カ月ぶりにマイナス（4－11月累計：同18.0%増）。公共工事請負額（12月）は8カ月連続前年割れ（4－12月累計：▲13.1%）。

●製造業生産は緩やかな上昇基調

鉱工業生産指数（11月）は、前年比で2カ月連続上昇（3.0%）。窯業・土石、プラスチック製品などが低下したものの、金属製品（飲料向けスチール缶）、輸送機械（自動車部品）、電気機械（電子部品）等が道外需要増を背景に全体をけん引した。なお、前月比も2カ月連続で上昇。

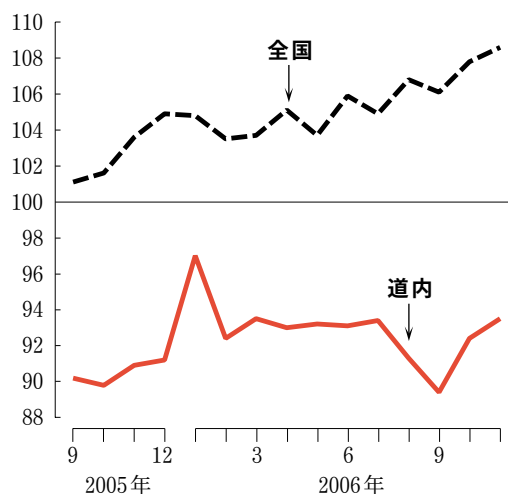
●観光は来道者数が増勢持続

11月の来道者数（除く海外からの直行便）は前年比5.0%増と8カ月連続でプラス（4－11月累計：同3.6%増）。東アジアを中心とする海外客も増勢持続。ただし、スキー客（リフト輸送人員ベース）は少雪等の影響から前年を下回って推移（11－12月累計：同▲14.5%）。

●雇用情勢は概ね横這い

11月の有効求人倍率は、常用で0.54倍（前年比▲0.02ポイント）と、新規求人数減少（同▲9.9%）を主因に6カ月ぶりに前年を下回った。なお、全数では0.61倍と前月から横ばいであった。

鉱工業生産指数
(2000年=100、季節調整済み)



(資料) 経済産業省、北海道経済産業局

世界からの視線が“飛んでくる”ノルディックスキー世界選手権

「2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会」が2月22日から開催される（大会概要は表紙参照）。ノルディックスキーの本場欧州では冬季五輪に次ぐ大会と位置づけられ、ドイツ（オーベルストドルフ）で開催された前回大会（05年）では、人口1万人の街に約36万人の観戦客が訪問するなど、街全体がお祭り騒ぎになる人気ぶりだ。既に欧州を中心に海外11カ国での放送（テレビ・ラジオ）が決まっており、観光地ブランドとしての「北海道」を国内外にアピールする絶好の機会だ。

札幌で開催された主な冬季大会と今大会の比較

	札幌冬季オリンピック	第2回アジア冬季大会	ユニバーシアード冬季大会	ノルディックスキー世界選手権
会 期	1972.2.3～2.13 (11日間)	1990.3.9～3.14 (6日間)	1991.3.2～3.10 (9日間)	2007.2.22～3.4 (11日間)
参 加 国	35カ国	10カ国	35カ国	47カ国
選手・役員数	1,006名 (選手数)	442名	1,178名	約1,100名

(資料) 2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会組織委員会、日本オリンピック委員会

見所は、大会史上初、屋内での競技実施

今大会の一番の目玉は、大会史上初となる、屋内での競技実施だ。クロスカントリー（スプリント、チームスプリント）、複合（スプリント距離）では、札幌ドームが会場となっており、ドーム観客席から熱戦をみることができる。当然、オリンピック、世界選手権のメダリストや、ワールドカップでの優勝者など世界の強豪たちもこぞってやってくる。対する日本選手には道内出身者が多く、ホームグラウンドでの奮起が期待される。

メダル獲得が有力視される海外選手

競 技	氏 名	出 身 国	2007W杯ランク
ジャンプ	アンデシュ・ヤコブセン	ノルウェー	1位
	グレゴア・シュリーレンツァウアー	オーストリア	2位
複 合	クリストフ・ビーラー	オーストリア	1位
	ハンヌ・マンニネン	フィンランド	2位
ク ロ ス カントリー	トビアス・アンゲラー	ド イ ツ	男子1位
	マリット・ビョルゲン	ノルウェー	女子2位

(注) ランクは1月17日現在。出場選手は未定

活躍が期待される道内出身の日本人選手

競 技	氏 名	出身地	2007W杯ランク
ジャンプ	葛西紀明	下川町	26位
	岡部孝信	下川町	61位
	伊東大貴	下川町	—
ク ロ ス カントリー	夏見 円	網走市	21位
	石田正子	美幌町	34位

(注1) ランクは1月17日現在。夏見選手はスプリント、石田選手はディスタンスの順位。出場選手は未定

世界に向けて「北海道」を発信する大会に

運営面では、一部でチケット販売の遅れが伝えられているが、マスコットキャラクター「ノルッキー」や広報大使（五輪スキージャンプの金メダリスト・原田雅彦氏）によるPR活動に加え、各経済団体などの支援活動もあり、着実に関心は高まってきている。大会期間中には2,200名程度のボランティアが大会運営を支えるほか、大通公園では有志による食とスポーツをテーマにした「札幌にぎわいまつり」が開かれることが決まり、準備にも盛り上がりを見せている。大会組織委員会では本大会の有料入場者数を12万人（ちなみに1972年の札幌冬季オリンピックは約64万人）と見込んでおり、国内外から多くの観光客が観戦に訪れることが確実。また、現在外国人観光客の中心となっているアジア各国、近年スキー客の増加が著しいオーストラリアやその兆しがみられるアメリカ等からの参加選手による口コミ効果に加え、各種メディアを通じた海外への宣伝効果も大いに期待される。

道内観光は、雪や温泉人気、旭山動物園の躍進、知床の世界遺産登録等を背景に観光客が回復傾向にある。「北海道」を世界に向けて発信する今大会は、こうした流れにさらに弾みをつけそうだ。

札幌にぎわいまつりの概要（予定）

期 間	2月21日～3月4日	営 業 時 間	午前11時～午後9時
会 場	大通公園	来場者予定数	約18万人
1丁目会場	さっぽろスイーツ2007「さっぽろ・白いティラミス」などスイーツの販売と喫茶スペースを設置、電飾ツリーなどの演出		
2丁目会場	音楽ライブ、キャラクターショーなどのステージイベント、市民参加の雪合戦、大鍋ふるまいなどの開催		
3丁目会場	ジンギスカンが食べられるビアガーデンに加え、ラーメン、スープカレーなどの屋台村を設置		

道外からの観光客数の推移 (万人、%)

	観光入込客数 (外国人を含む道外客)	訪日外国人来道者数
01年度	627 (5.3)	24 (14.3)
02年度	638 (1.8)	28 (18.3)
03年度	635 (▲0.5)	29 (5.2)
04年度	632 (▲0.5)	43 (45.4)
05年度	635 (0.5)	51 (20.3)

(注) カッコ内は前年比伸び率。観光入込客数、訪日外国人来道者数は実人数
(資料) 北海道

(石田、橋村)

経済動向 Q & A

日本経済が息の長い景気回復を続ける中、全国と比べると依然格差はあるが、道内経済にも、一部に明るさがみられるようになった。今回は、当行が昨年12月に発表した「2007年度北海道経済の展望」に基づき、経済動向をQ & A形式でまとめた。

Q 1：日本経済の現状と展望は？

A：日本経済は、いざなぎ景気越えが取りざたされるなど、息の長い景気回復が続いているが、足元はやや減速傾向で推移している（四半期実質成長率は1－3月期が前期比0.7%、4－6月期同0.3%、7－9月期同0.2%）。特に個人消費は7－9月期同▲0.9%と大ブレーキ。しかし、天候不順が主因と考えられており、雇用・所得改善の持続から、先行きは回復するとの見方が主流。当行の07年度見通しでも、個人消費が、雇用・所得環境の改善持続や、退職所得の増加を背景に堅調に推移し、景気全体を牽引、回復が続くとみている。これまで景気回復のエンジンであった輸出、設備投資は、海外景気の減速を受け、07年度上期まで伸び率鈍化傾向が続くとみられるが、下期には米国における住宅投資減少の下押し効果が一巡、また、中国では08年の北京五輪に向けた投資が拡大するなど海外需要が回復し、勢いを取り戻すと考えられ、結果、実質成長率は1.9%と06年度並みの伸びを維持すると予想している。

Q 2：07年度の道内経済見通しは？

A：06年度は、道外需要の堅調さが下支えしたものの、歳出削減の影響が大きく、ゼロ近傍の低成長。07年度も低成長が続くが、道外需要の堅調持続、退職所得による個人消費下支え、公的需要のマイナス幅圧縮などから、実質成長率は0.3%と06年度を0.1ポイント上回る。07年度について需要項目別にみると、個人消費は、新規求人増、退職所得の大幅増などから雇用者報酬がプラスに転じるため、家計負担増を見込んで前年度の伸びをやや上回る。住宅投資は、団塊ジュニア世代などの取得意欲向上、耐震偽装問題の影響一服などがプラス材料となる半面、投資効率の低下などから貸家着工が減少、総体の投資額も減少する。設備投資は、一部の大型投資が剥落する一方で、堅調な道外需要、札幌都心部でのオフィスビルやホテル等の新增設、省エネ投資の広がりなどから、底堅い伸びとなる。移輸出も堅調な道外需要を背景に増加。一方、公的固定資本形成は9年連続で減少し過年度ピーク（95年度）の47%に低下する。ただし、公務員給与の減少幅縮小などから公的需要総体のマイナス幅は縮小する。

GDP (国内総支出) の見通し

(単位：％、円)

項目	年度	2005年度 (実績)	06年度 (見通し)	07年度 (見通し)
名目 GDP		1.0	1.2	2.3
実質民間消費		1.9	0.8	1.8
" 住宅投資		▲ 1.0	0.4	1.8
" 設備投資		5.8	7.7	4.1
" 民間在庫※		▲ 0.3	0.0	0.0
" 政府消費		0.9	0.6	0.9
" 公的固定資本		▲ 1.4	▲ 10.5	▲ 6.0
" 輸出		9.0	8.2	5.3
" 輸入		6.0	4.6	4.5
実質 GDP		2.4	1.9	1.9
企業物価指数(国内)		2.1	2.8	1.0
消費者物価指数(全国)		▲ 0.3	0.4	0.3
為替レート(ドル円)		113.3	115.7	114.0

④ 1. 実質GDP成長率は、連鎖方式による。
2. 民間在庫は増加額（単位：兆円）

道内総支出の見通し

(単位：％)

項目	年度	2005年度 (実績見込)	06年度 (見通し)	07年度 (見通し)
名目経済成長率		▲ 0.5	▲ 0.3	1.0
民間最終消費支出		0.6	0.4	0.5
民間住宅投資		▲ 4.3	▲ 0.2	▲ 2.2
民間企業設備投資		1.5	2.4	0.7
政府最終消費支出		1.6	▲ 0.1	1.0
公的固定資本形成		▲ 8.1	▲ 6.9	▲ 6.8
民間在庫品増加		▲ 106	▲ 31	21
公的在庫品増加		31	0	▲ 10
財貨・サービスの移輸出		1.0	2.1	1.0
財貨・サービスの移輸入		▲ 0.1	0.6	▲ 0.1
実質経済成長率		0.4	0.2	0.3
道内鉱工業生産指数		▲ 3.6	2.4	1.2
道内消費者物価指数		0.2	0.8	0.6

④ 1. 実質経済成長率は1995年基準
2. 在庫品増加は実額（単位：億円）

Q 3 : 07年度の北海道開発予算は？

A : 07年度の北海道開発予算案は6,433億円(前年当初比▲6.8%)と7年連続の減少。このうち北海道開発事業費(公共事業に相当、地方負担分を含まない国費ベース)は6,321億円(同▲6.8%)。最も多かった97年度(9,871億円)比では▲36.0%。全国の一般公共事業費に占める北海道シェアは9.2%と前年度の9.5%を下回る過去最低となった。道、市町村が財政負担の伴う補助事業の要望を大幅に減らしたことが主因。予算総額の下げ幅としては、02年度(▲10.8%)、98年度(▲7.9%)、06年度(▲7.3%)に次ぐ過去4番目。なお、開発予算とは別枠だが、北海道新幹線の07年度建設事業費予算は100億円(05年度30億円、06年度60億円)。

Q 4 : 団塊世代の退職に伴い退職所得はどの程度増加する？

A : 団塊の世代(1947~49年生まれ)の本格的な退職時期到来に伴い、日本全体での退職金は、07年(14兆円程度)以降3年間で50兆円程度になると試算されている。数々のブームを生み出した世代でもあり、旅行、健康、住宅、金融など幅広い分野での市場拡大が期待される。道内における60歳見込み人口(男性、05年年齢基準)は、06年の32.8千人(前年比5.0%増)に対し、07年には43.3千人(同32.0%増)と大幅に増加。退職対象者を58~60歳に想定すると、退職所得は06年度が同10%増、07年度が同20%増となり、これに伴う07年度の消費支出底上げ効果は130億円程度と予想される(札幌国税局資料などから05年度の道内退職所得は3,200億円程度。このうち消費に回る割合を約2割として算出)。

道内における60歳人口の推移(05年年齢基準)

	04年度	05年度	06年度	07年度
実数(千人)	36.2	31.2	32.8	43.3
前年比伸び率(%)	▲1.0	▲13.7	5.0	32.0

(資料) 総務省

Q 5 : 定率減税廃止などによる家計への影響は？

A : 定率減税は06年1月から半分に縮減、07年1月から廃止された。これによる道内家計の負担増は、05年度60億円、06年度495億円、07年度435億円と試算される(札幌国税局資料等から

給与所得の全国ウェートを3%強とした)。また、06年度はこれに加えて厚生年金・共済年金保険料率引き上げ、介護保険料引き上げにより145億円の負担増。07年度も厚生年金・共済年金保険料率引き上げが行われ100億円の負担増となるが、雇用保険料率が引き下げ(雇用者負担分は▲0.2%)となる見通しのため、ほぼ同額の軽減が見込まれる。

Q 6 : 07年度の住宅着工戸数の見通しは？

A : 07年度の着工戸数は50.2千戸と微減が予想される。プラス材料は、退職者層や団塊ジュニア世代での住宅取得意欲向上、取得コスト(建築費、金利、地価等)の先高観、耐震偽装による着工先延ばし・買い控えが一服したことによる分譲マンションの着工増など。半面、マイナス材料としては、需要者側で雇用・所得環境の改善遅れ、供給者側で、宅地供給の一服、札幌市内マンション適地の地価高騰、アパート・賃貸マンションでの供給過剰傾向や建築コスト上昇に伴う投資効率低下等が挙げられる。このため、新設住宅着工戸数は、持家が微減。貸家は低層アパートが緩やかに減少。賃貸マンションは05年度をピークに2年連続減少。分譲住宅では建売が比較的割安な物件を中心に堅調。マンションは需要が持ち直し前年を1割程度上回るが、供給側の制約(土地手当ての困難さ等)から前年度の落ち込みをカバーする水準には至らない。

住宅着工戸数の見通し (千戸)

	04年度 実績	05年度 実績	06年度 (予測)	07年度 (予測)
新設住宅着工戸数	48.1	53.0	50.9	50.2
うち持家	13.7	13.1	13.4	13.3
うち貸家	26.0	31.9	31.1	30.0
(低層アパート)	(15.2)	(15.4)	(15.0)	(14.6)
(賃貸マンション)	(10.8)	(16.5)	(16.1)	(15.5)
うち分譲住宅	8.0	7.6	6.0	6.4
(建売)	(2.1)	(2.5)	(2.4)	(2.4)
(分譲マンション)	(5.9)	(5.2)	(3.7)	(4.0)

(注) 実績は国土交通省、予測は当研究所、四捨五入の為、貸家、分譲とそれぞれのカッコ内内訳の合計は一致しない

Q 7 : 自動車関連で道内への企業進出が相次いでいるようだが？

A : トヨタ自動車北海道(苫小牧)の能力増強投資等に伴い、部品供給関連などで道外からの企業進出が相次いでいる。道内経済において、産業構造上における製造業ウェートの低さはウィー

クポイントの一つとなっているが、こうした動きのさらなる活発化に加え、道内企業による部品供給力強化等を通じて、今後、ものづくり産業の底上げが大いに期待される。

＜最近の主な自動車関連進出企業＞

企 業 名 (本社)	進出地域：内容 (07年以降は予定) (主要扱い品等)
アイシン精機 (愛知)	苫小牧市：製造工場新設(07年春稼働) (自動変速機向け鍛造部品)
東 陽 (愛知)	苫小牧市：営業所新設(07年春) (自動車関連工場向け機械工具販売)
佐藤商事 (東京)	苫小牧市：事務所・加工用倉庫新設 (鋼材、06年11月着工)
三五 (愛知)	苫小牧市：工場新設(08年2月本格稼働) 自動変速機向け鍛造部品の粗形材製造
三和油化工業 (愛知)	苫小牧市：製造工場新設(07年4月稼働) (アルミダイカスト製品の含浸加工)
徳重 (愛知)	石狩市：製造工場新設(07年春) (自動車駆動軸を保護するゴム部品)
住友電工スチールワイヤー (兵庫)	室蘭市：製造工場新設(06年夏稼働) (自動車エンジン向け弁パネ用鋼線製造)
日立製作所 (東京)	帯広市：研究施設設置 (06年夏、寒冷地向けブレーキシステム等の研究開発強化)

※新聞報道、ヒアリング等を参考に当研究所作成

Q 8：道内産木材の需要増の背景は？

A：道産原木の需要は、安価な輸入原木に押され、近年は総じて低迷が続いていたが、05年度以降は針葉樹（製材向け）を中心に引き合いが強まっている。これは、中国での需要拡大、海外での森林保護のための伐採規制などを背景に輸入原木の減少傾向が続いているため（これに伴い、市況も上昇傾向）。住宅着工、公共工事の減少から建設関連需要全般は引き続き低水準での推移が予想される中、原木輸入量の減少持続を背景に、今後も道内原木の需要は針葉樹を中心に増加傾向（市況も強含み）で推移するとみられる。

道内産製材出荷量の推移（針葉樹）

	03年度	04年度	05年度	06年度
前年比伸び率(%)	▲1.6	▲4.0	1.1	1.8

(資料) 北海道 (注) 06年度は4-11月の前年同期比

製材価格の推移 (2000=100)

	03年度	04年度	05年度	06年度
国内企業物価指数	95.4	96.9	96.5	98.9
輸入物価指数	102.3	107.4	108.8	120.8

(資料) 日本銀行 (注) 06年度は4-11月の平均

Q 9：道内における地域ブランド化の取り組みは？

A：地域の資源・資産を「価値」に変える「地域ブランド」づくりが全国的に盛んだが、潜在的なブランド力で優位にある北海道でも取り組みが活発化している。例えば、伝統産業や観光など地場産業関連製品では、旭川（家具）や小樽（ガラス工芸品）等が海外向けにブランド発信中。また、地域特産の一次産品では、「十勝川西長いも」「鶴川ししゃも」「豊浦いちご」が国の「地域団体商標」(06年度からの新制度)に認定されたほか、札幌やオホーツク地域では「地域認証制度」で土産品や地場産品の価値向上を図る取り組みがみられる。地場産業製品や地場名産品のブランド力を高め、地域（地域産業）を活性化させようとする動きは、今後も道内各地でさらに加速しそうだ。

一次産品の地域ブランド化事例

地域	産 品 名	ブランド名	取 扱 い 主 体
夕張	メ ロ ン	夕張メロン	夕張市農協
札幌	玉 ね ぎ	札幌黄	札幌市農協
道内	米	八 十 九	ホクレン
阿寒	エゾシカ肉	阿寒もみじ	北泉開発
釧路	サ ン マ	青 刀	釧路市漁協
網走	キ ン キ	釣りきんき	網走市漁協
日高	サ ケ	銀 聖	日高定置漁業者組合

※HP、ヒアリング等を参考に当研究所作成

Q10：観光客の動向は？

A：北海道への観光客は回復傾向が続いている(05年度までの実績はP2フラッシュ参照)。北海道観光連盟が毎月まとめている来道者数（交通機関下り便輸送実績）は、4月以降8カ月連続で前年を上回って推移中（4-11月累計：前年比3.6%増）。旭山動物園や知床（05年7月に世界自然遺産登録）の人気持続に加え、前年の他地域へのシフト要因（愛知万博等）剥落による反動や、国内景気回復に伴う国内旅行需要の増加、割安航空会社の新規参入等がプラス要因となった。また、海外からの観光客も、台湾、香港、韓国など東アジアを中心に堅調を持続している。今冬は、暖冬少雪の影響等からスキー客の出遅れが目立つが、全体の入込みににおける回復傾向は今後も続くと思込まれる。

Q11：原材料・燃料価格高騰の道内への影響は？

A：建設資材など原材料価格が引き続き上昇。建設資材物価総合指数は06年（1－11月平均）で前年比2.5％上昇。最近のボトムだった02年と比較すると11.6％上昇（札幌市内平均）。この間、建築費は工場で2.1％の上昇にとどまってお（マンションは▲1.3％と低下）、建設業のコストを圧迫している。原油価格も8月に80ドル/バレル近くまで高騰（WTI）。その後ピークアウトし、石油製品価格も低下傾向だが、前年同期と比べるとまだ高水準。1月9日の道内平均価格でみると、灯油が78円/リットル（前年比5％高）、ガソリンは134円/リットル（同4％高）だ。全国よりも燃料価格高騰の打撃が大きい（使用量が多い、価格転嫁できにくい等）道内にとって、厳しい状況が続く。こうした中で、運輸業や製造業等を中心に、燃費改善、代替燃料利用によるコスト抑制、技術開発などの取り組みを強化する積極的な動きもみられる。

なお年明け後の原油価格は、欧米の暖冬による需要減などから51ドル台/バレルと1年8カ月ぶりの安値（1/11）を記録した。中国を中心とする需要増、地政学的リスクなど価格高止まり要因はあるものの、投機的なマネーの影響が減れば60ドル/バレル前後で推移という見方が多い。07年度の石油製品価格は前年より低下し、企業のコスト上昇要因がやや緩和しそうだ。

Q12：日豪EPA交渉が取りざたされているが

A：EPAは、関税撤廃主体のFTA（自由貿易協定）に加え、サービス、投資、電子商取引など全面的自由化を目指すもので、今年、日豪間での交渉が開始される。日本側は、牛肉、乳製品、小麦、砂糖の4品目に関し、関税撤廃からの除外を求めているが難航。4品目の道内生産額（04年）は5,692億円と農業全体（1兆942億円）の52％に上る主要産品。農水省の試算では、「4品目の国内生産態勢の現状維持だけで対策費4,300億円が必要」。ただし、財政難から対策費の全額支出は不可能という見方が強い。

Q13：足元における道内地域別の景況感

は？

A：日銀短観（06年12月発表）の業況判断DIを1年前と比較してみると、道北・道東は悪化した。道南・後志が改善、道内総体でも3％ポイントの改善となった。先行き（07年3月）は、後志（横ばい）以外は悪化を見込んでおり、厳しい見方が大勢を占めている。また、北海道はDIがマイナスであるが、全国はプラスで推移しており、景況感には依然開きが見られる。

<道内地域別業況判断DI>

(％ポイント)

	05年12月	06年3月	6月	9月	12月	07年3月
道北	▲26	▲31	▲24	▲22	▲28	▲39
道南	▲15	▲16	▲4	▲2	▲1	▲11
道東	▲23	▲31	▲16	▲14	▲16	▲18
後志	▲5	▲11	▲20	▲17	▲13	▲13
全道	▲12	▲16	▲13	▲9	▲9	▲13
全国	5	5	6	6	8	5

(注) 日銀短観（全産業）、07年3月は見通し

Q14：北海道経済の今後の課題は？

A：全国の中でも出遅れ感が目立つ本道経済は、依存度が大きい財政面での制約が続く中、まさに自立経済への移行期にあるといえる。道民のアイデア、知恵を結集し、農業、観光、食、寒冷地技術など、国内他地域に比べて優位性を持つ分野における高付加価値化戦略を官民一体となって強力に推し進めることで、既存産業の底上げと新規産業の基盤拡大を図り、新たな需要創出につなげていくことが一層重要になると思われる。

「2007年度北海道経済の展望」本文は、当行ホームページでご覧いただけます（ホーム→法人のお客様→北海道経済の見通し）。
(<http://www.hokkaidobank.co.jp/>)

地域だより

(わが町の地域ブランド)

◎「地域団体商標」に登録された地域ブランドを紹介します（平成19年1月9日現在）

① 帯広市 『^{と か ち か わ に し}十勝川西ながいも』



厳格な種いも管理のもと、十勝地区の7J A（広域連携）で生産され、全国生産シェアは10%以上に上る。きめ細かく真っ白な肉質と強い粘り、甘さが特徴。国内向けのみならず、台湾（薬膳料理の食材として高評価）にも出荷されている。

（出願人：帯広市川西農業協同組合）

② むかわ町 『^{む かわ}鵒川ししゃも』



北海道太平洋沿岸の限られた海域でしか漁獲されず、ししゃもとして国内流通する量の約5%にすぎない希少価値（殆どは輸入代替魚）を有す。平成7年に町の魚として制定。加工する際の「すだれ干し」は、秋（漁期）の風物詩に（写真）。全国百貨店の北海道物産フェアでも大人気。

（出願人：鵒川漁業協同組合）

③ 豊浦町 『^{と よ う 湖}豊浦いちご』



当地域は道内第2位の苺生産量を誇る。本ブランドは、豊浦町内で生産され、JAとうや湖に管理された苺に使用。果実が大型で甘味と酸味のバランスがとれており好評。ほぼ通年（10月中旬～翌7月）の供給期間となっている。

（出願人：とうや湖農業協同組合）

『地域団体商標登録制度』とは？

- ・「地域名」と「商品名」を組み合わせた名称を、地域ブランドとして商標登録できる制度。従来は、「夕張メロン」のように全国的な知名度がなければ商標登録を受けることができなかったが、2006年4月の改正商標法施行により登録要件が緩和された。対象商品の付加価値を高め、差別化を図る大きな武器となることから、地域活性化への寄与効果が大きいと期待されている。
- ・登録査定は、現在、全国で103件、うち道内は3件（他に17件が出願中）。

調査ニュース

編集・発行 北海道銀行
道銀地域企業経営研究所 経済調査室

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目

☎（直通）011-233-1032 内容照会先 黒瀬

北海道銀行ホームページ <http://www.hokkaidobank.co.jp/>

印刷 有限会社 北光社